



特集

—これからも安心して暮らし続けるために— 小さな拠点づくり

人口減少や高齢化が進む中、日常生活に必要なサービスが徐々に減少し、安心して暮らし続けることが難しくなっている集落が増えてきています。そのような状況に対し、地域の再生を目指す新たな取り組みとして、「小さな拠点づくり」が始まっています。

菅福地区でも、今年4月から小さな拠点「高宮の郷」が発足し、活動が始まりました。

—小さな拠点とは？

人口減少が進むなか、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けていけるよう、連合自治会のような広域的な組織で「みんなの暮らしを守る仕組み」を作っていくことが「小さな拠点づくり」です。

個々の集落だけでは解決が困難な、生活機能の維持・確保などの課題に対応するために、複数の集落で協力し合いながら、集落を活性化する取り組みを行う必要があります。安心して暮らし続けられる地域の維持、住民の生活の質の維持・向上のためにも、持続可能な地域づくりを目指した取り組みが必要となっています。



百歳体操やグラウンドゴルフなどの集まりは続けられるだろうか…

地域に人がいなくなったらどうなるだろう…

お店や移動販売がなくなればいけないけど…

一人暮らしだからかんたんな食事しかとってないな…

新たな取り組みがスタート！



活動拠点ムラづくりカフェの開設

地域の皆さんがいつでも集える場として、つながる場、アイデアの場、憩いの場である「ムラづくりカフェ」を開設しました！

中上菅で百歳体操がスタート

菅福地区で取り組みのなかった中上菅で、百歳体操がスタートしました！





菅福小さな拠点づくりフェスタ

6月5日、菅福社会体育館で、菅福小さな拠点づくりフェスタが開催されました。

当日は、島根県中山間地域研究センターの主任研究員東良太さんの基調講演をはじめ、やらいや逢坂（大山町）会長の小林直哉さん、みざわ小さな拠点づくりの会（奥出雲町）事務局次長の落合孝行さん、菅福小さな拠点づくり実行委員会の稲田正純さんが、事例発表を行いました。小さな拠点づくりとはなにか、実際に行われている活動内容についてなど、それぞれの視点から紹介し、成果を発表しました。

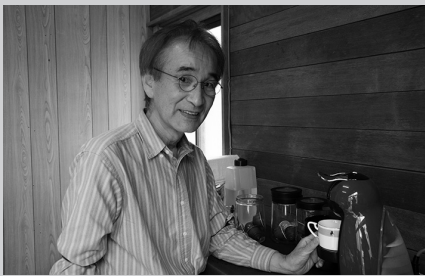
大山町や奥出雲町でもすでに取り組みられている小さな拠点事業。参加者は、先進地での取り組みを聞き、自分たちの地域にどのように生かせるか考えるきっかけとなったようです。



地域の安心を守る 支え合いの心

菅福地区集落支援員

さ さ き りょうめい
佐々木 良明 さん（舟場）



地域の皆さんがカフェへおしゃべりに来てくださって、私も元気をもらっています。お互い協働し合い、地域を活気づけるようなことを、皆さんと一緒に考えながら行っていききたいですね。

まだカフェに来たことがない人も、お気軽にいらしてください。

菅福小さな拠点「高宮の郷」では、現在、集落支援員の佐々木良明さんが運営するムラづくりカフェ（上菅）の開設、各地区での百歳体操の実施、高齢者の見守り支援などが行われています。どれもまだスタートを切ったばかり。これからますます活動が盛んになっていくことが期待されます。

皆さんも、住み慣れた集落に安心して住み続けていくために、何が必要なのか、どのような取り組みが必要なのか、集落全体で話し合っていきましょう。

【問合せ先】役場企画政策課（電話 72-0332）

—まずは地域の課題を考えることから！

《菅福地区の課題》

- ▼集いの場がない
- ▼百歳体操をしていない地区がある

地域の皆さんの声

❁ ムラづくりカフェが出来たことで、みんなでおしゃべりする場所ができてうれしいです。最近では近所の人と会う機会も減っていたので、毎日の楽しみができました。

❁ 集落支援員さんがいてくれるので、地域でやりたいことや相談ごとを話しやすくなりました。これからもっと一緒に地域を盛り上げていけるような活動をしていきたいです。



地域みんなで話し合い